

【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 運動療育センターキートス・テトラ		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 2 月 2 日 ～ 令和 8 年 2 月 15 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 29	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和 8 年 2 月 2 日 ～ 令和 8 年 2 月 14 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 5 日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種なスタッフの配置	保育士、理学療法士、作業療法士、児童指導員、運動インストラクターと異なる資格を持ったスタッフでチームを構成している。 他職種の強みを活かした多角的な支援ができるようミーティングなどを行っている。	各部会での研修会等を定期的実施し スタッフの強みを伸ばしていく。
2	一斉運動による運動プログラム実施	様々な学年の子ども達が一斉に運動をしている。 同年代以外の上学年・下学年の子にも関わる機会を増やし、社会性を伸ばしていける様に工夫している。	スタッフ間で協議し、子どもたちが飽きず楽しく活動に参加できるよう、活動の種類を増やしたり、グループ分けや難易度を調整していく必要がある。
3	運動後の一斉学習	学習支援の一環として、運動の後に学習を実施している。 児童の状況に合わせて集中できる環境を整えている。	環境設定だけでなく、学習支援に必要な教材等も充実させ、より集中して学習できる状態を作っていく。
4	地域交流の機会	土曜日を中心ではあるが、地域イベントに定期的に参加し、交流の機会を増やしている。	今後もボランティアへの参加や、地域の散策等も積極的に行い、地域交流を深めていく。

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点	事業所として考えている課題の要因等
1	きょうだい児を含めた家族支援の機会をつくる。	保護者を対象とした勉強会は行ったが ペアレントトレーニングは実施できていない。	勉強会・保護者交流会等の実施はしたが定期的な開催とはなっていない。 保護者やきょうだい児も参加可能なイベントを企画実行していく。
2			
3			